

千環協ニュース

— 主な内容 —

- 1 通 常 総 会
- 2 合 同 委 員 会
- 3 測定分析料金アンケート結果
- 4 ニーズ調査アンケート結果
- 5 親 睦 ゴ ル フ 大 会
- 6 理 事 会 報 告
- 7 会 員 名 簿

千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association

目 次

祝 辞	2
会長挨拶	3
副会長退任挨拶	4
平成7年度第19回通常総会報告	5
平成7年度事業計画	7
平成7年度合同委員会報告	8
測定分析料金アンケート結果	10
ニーズ調査アンケート結果	15
第21回千環協親睦ゴルフ大会	20
還暦の年に 望外の優勝	21
理事会報告	22
会員名簿	26

祝 辞



千葉県計量検定所次長 齋藤博之

本日、ここに千葉県環境計量協会の第19回通常総会が開催されますことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

本来、私ども所長がまいって、皆様に御挨拶申しあげるところですが、所用で出席できませんので、私が代理をさせていただきます。

千葉県環境計量協会の会員の皆様には、平素から本県の計量行政に御理解と御協力を賜りまして、心からお礼申し上げます。

当協会は、昭和51年に設立されて、以来、社会情勢の変化及び企業ニーズに応じた情報の収集・提供、技術向上のための御協力をされ、環境計量に関する多くの成果を納められ、また、日常業務のお忙しい中で、協会活動として、各委員会が活発に活動され、特に、技術委員会における精度管理、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループによる積極的な調査、研究を会員の皆様が一体となって、会員相互のレベルアップを図るため御努力されておりますことに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

本県における環境行政は、全国に先駆けて平成4年に環境新時代を掲げて以来、環境憲章、千葉県地球環境保全行動計画などを策定し、環境にやさしいライフスタイルの確立に向けて幅広く施策を展開しているところであります。

環境問題は、事業者、県民、市町村が一体となって真剣に取り組むべき時代であります。

このような中であって、環境計量証明事業に携わる当協会の会員の皆様は、第三者的機関としての社会的責務が、ますます増すものと思われまます。

一方、新計量法が施行されて以来、1年猶予が経過し、順調に推移しております。中でも、今回の法改正により、SI単位、トレイサビリティ制度、指定製造事業者制度、指定定期検査機関制度等の制度が導入されましたことは、御承知のことと思います。

計量検定所としても、この制度に対応するため、4月に機構改革をおこないました。

総務課、検定1・2課は従来どおり変更はございませんが、検査1・2課を統合して検査課とし、新たに導入された制度の普及促進及び計量思想の普及啓発の充実を図るため、企画啓発課を設置しました。

これに伴い、職員の配置替えが行われています。今後はこの新しい体制で計量行政の推進を図る所存ですので、御支援、御協力をお願いします。

終りに、社会環境は、ドル安円高、阪神大震災、政情不安等依然として厳しい環境であります。社会情勢の変化に対応すべく、技術の向上に研鑽されまして、より一層の事業活動を展開されますとともに千葉県環境計量協会のますますの御発展と会員皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして挨拶といたします。

会長挨拶



千環協会会長 中村 豊

私は、当協会の会長を仰せ付かっております、中外テクノスの中村豊でございます。開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、後ほどお見えになりますが、日頃大変お世話になっております、千葉県計量検定所次長 斎藤博之様、指導課長 時田孝一様、指導課 大野和夫様をお迎えし、多数の会員各社の方々のご参加をいただきまして、盛大に第19回千環協通常総会を開催する事ができました。私は、昨年の通常総会で加藤前会長からバトンを引き継ぎまして、ようやく1年が経過いたしました。その間、理事さんはじめ会員各位に大変にお世話になりました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、環境保全施策は、21世紀に向けて世界中の重大関心事であり、わが国では、相次ぐ環境関連法令の改正と規制強化が急がれております。千環協は昨年度2社の新規会員をお迎えし、現在59社で構成されております。不安定な政治、製造業や金融業の空洞化、経済界の長期低迷、更に深刻な円高等マイナス要素の多い中で、環境ビジネスはプラス要素の中にあります。千環協の更なる発展が、社会的要請であり、信託に応える任務があると思います。

本日は、平成7年度の当協会のスタートであります。活動方針、運営方法等十分なるご審議をお願いいたします。

先の阪神淡路大震災は発生後3ヶ月が過ぎましたが、官民挙げて力強く復興が進んでおります。震災直後から、国内は勿論海外からも沢山の義援金が集まり、復興を支援しております。そこで千環協といたしまして、後ればせながら皆様のご協力をいただきたく、会場に募金箱を用意いたしました。被災者の方々のお役に立てればと願ひ、皆様のご協力をお願いする次第でございます。

また、後ほどの審議の中で、平成6年度事業報告がありますが、今年度の研修見学会、技術講演会、新春講演会、あるいは技術委員会ワーキンググループ活動の内容等について、皆様のご希望をアンケートしたいと思ひます。皆様のご意見は次の合同委員会の中で参考とさせていただきます。千環協の更なる充実、発展をめざしたいと考えております。アンケート用紙にご記入のうえ、回収箱にご投函下さい。以上、ご協力のお願ひが多くて恐縮ですが、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

副会長退任挨拶



北原成之

私は、すでに去る5月15日付で、キッコーマン株式会社を定年退職いたしております、所属のないままの不規則な状況が続いていたわけで、この間皆様にご迷惑をおかけすることなく何ごともなく済み、後任を選任していただき安堵いたしております。

また、ただ今は、感謝状などもいただき、3年間1期半の短い間しかお役に立てなくて誠に面映いおもいがいたしておりますが、ともあれ皆様方のあたたかいご協力、ご支援で曲がりなりに、副会長の大任を果たさせていただけたと心から御礼申し上げます。

省みますと副会長就任早々の3年前、平成4年6月にブラジルで地球サミットがおこなわれ、翌年には我が国でも環境基本法が制定されるなど、環境元年などといわれる中いろいろとまどいもありました。特に平成5年3月には水質環境基準が改定され、GC-MSの導入などが必要になり、千環協としてどう対処すべきかということで、特別委員会で対応を検討したこともありました。また、昨年平成6年には調査開発W/Gを発足させて、情報調査、顧客ニーズ調査など、皆様のご協力なしでは、とてもできないこともやらせていただき、厚く御礼申し上げます。

環境問題は従来の公害対応型から環境保護保全型にかわり、私達の事業も変化してきていることは、ご存じの通りです。

先日も、日環協の総会のおり、環境庁の大気規制課長の柳下正治氏の話の中で、大気関係も多くの大気汚染物質が検討されていて、近いうちに法案化されるやと聞きました。

皆様のビジネスチャンスが増えることにつながるなかで、千環協に集まる皆さんの一層のご健闘を念願するものであります。

また、本日後任に選任されたキッコーマン分析センターの野村罔夫さんにも、私同様に温かいご支援をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、皆様の、ご健康と益々のご活躍を、そして皆様の事業所、千環協の益々のご発展を念願いたしまして私の退任のご挨拶といたします。

(3) 第4号議案(平成7年度事業計画(案)及び第5号議案(平成7年度収支決算(案)))について、一括審議に入り、高橋副会長より通常総会資料によって説明があり、全会員一致で承認された。

中村新会長よりすべての議事の終了の宣言後、永山氏、岡崎氏、尾花氏(欠席のため代理人)へ、中村会長より感謝状が渡された。

永山氏、岡崎氏、の離任挨拶後、有馬企画委員長、安川監事、林監事の着任挨拶があり、平成7年度(第19回)通常総会が終了した。

8. 閉 会 総務委員長 名 取 昭 平

以上の議事が正確であることを証明します。

署名人 日本軽金属(株)船橋分析センター

石 澤 善 博

イカリ消毒(株)

清 水 隆 行

9. 出 席 者

1) 会 員

- (1) 浅野工事(株)
- (2) 旭硝子(株)千葉工場
- (3) イカリ消毒(株)技術研究所
- (4) 出光興産(株)千葉製油所
- (5) (株)上総環境調査センター
- (6) 川鉄テクノロジーサーチ(株)
- (7) 環境エンジニアリング(株)
- (8) (株)環境管理センター
- (9) キッコーマン(株)
- (10) 共立エンジニアリング(株)
- (11) 京葉ガス(株)生産部技術センター

- (12) 公害計器サービス(株)
- (13) (株)三造試験センター
- (14) 習和産業(株)
- (15) 昭和電工(株)千葉事業所
- (16) 神鋼杉田製線(株)
- (17) (株)新日化環境エンジニアリング
- (18) (株)住化分析センター千葉事業所
- (19) セイコーアイ・テクノロジーサーチ(株)
- (20) (株)ダイワ千葉営業所
- (21) (財)千葉県環境技術センター
- (22) 中外テクノス(株)関東営業所
- (23) (株)東京化学分析センター
- (24) (株)永山環境科学研究所
- (25) 日本軽金属(株)船橋分析センター
- (26) ニッカウキスキー(株)
- (27) 日建メンテナンス(株)
- (28) 日廣産業(株)
- (29) (社)日本工業用水協会
- (30) 日本廃水技研(株)千葉支店
- (31) 日立プラント建設サービス(株)
- (32) 房総ファイン(株)
- (33) ヨシザワ L A (株)

(出席会員33社 委任状提出20社)

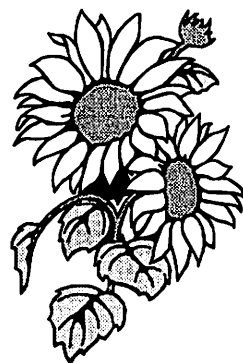
2) 来 賓 (敬称略)

千葉県計量検定所

次 長 斎 藤 博 之 氏

指導課長 時 田 孝 一 氏

指導員 大 野 和 夫 氏



平成7年度 事業計画

日本は、戦後半世紀を経過した今、自由貿易を通じて大いなる繁栄を遂げました。便利な暮らしが大衆化した一方で、地球規模の環境の諸問題、新しい文明的価値の模索等、発展のための行動の反省と転換が志向され、21世紀へ向かいつつあります。水質・悪臭・廃棄物等々の新基準が施行され、近い将来には、大気新基準も検討されております。

千環協は、環境保全事業の転換期を認識して、社会の信託に対応すべく、「環境計量に関する技術の向上と、会員相互の親和と協調に努め、かつ関係諸機関との連携を密にし、環境計量証明事業の正しい発展を図る。」との目的達成のために次の事業を行う。

1. 研修会・講演会の開催

技術の習得や知識の向上を図るため、研修見学会、技術講習会を実施する。

2. 技術事例発表会の開催

会員の測定分析に関する研究の発表の場として、技術事例発表会を開催する。

3. ワーキンググループの結成

測定分析の実務的技術レベルの更なる向上を図るため、精度管理・計量管理・騒音振動の各ワーキンググループを結成し、その成果の発表会を実施する。また、必要に応じてワーキンググループを結成し、活動する。

4. 共同実験とパネルディスカッション

会員相互の分析技術の信頼性の向上を図るため、項目を選定して、共同実験を実施する。また、その結果についてのパネルディスカッションを開催する。

5. 経営問題についての意見交換

会員各事業所に共通する経営上の問題について、意見交換の場を持つ。

6. 会誌の発行

当協会の活動状況の広報のため、定期的に会誌を発行する。

7. 協力関係

計量検定所の行事（くらしと計量展）に協賛する。

日環協、首都圏環協連の事業に参画する。

8. 親睦関係

会員相互の親睦を図るため、スポーツ等の催しを行うほか、機会ある毎に懇親会を開催する。



平成7年度合同委員会報告

開催日時 平成7年6月6日

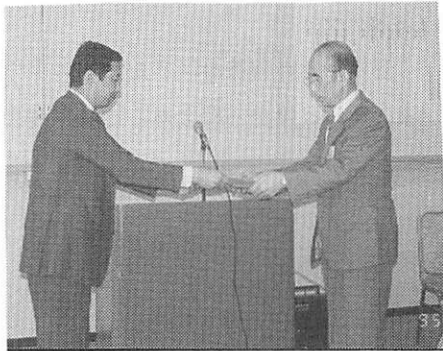
13:30～18:00

開催場所 ちば共済会館

本年度の合同委員会は34社54名出席のもと開催され各委員会ごとに事業計画を討議した。

北原副会長の勤務先定年退職に伴う補充役員の選出を行いキッコーマン(株)の野村罔夫氏を副会長に選任された。

当日は来賓として千葉県計量検定所時田課長、大野技師及び岩瀬良三氏、戸田良夫氏が出席された。



北原氏へ記念品贈呈

委員会別活動計画

1. 総務委員会

1) 第12回ソフトボール大会

場 所 SIIスポーツプラザ

開催日 10月22日

2) 新春講演会

場 所 ちば共済会館

時 期 平成8年1月19日

演 題 2～3題

2. 業務委員会

1) 千環協案内の作成と関係機関への配布

2) 産業廃棄物に係る有害項目について分析料金アンケートを実施する。

(1)全会員を対象とし無記名方式で実施する

3. 技術委員会

1) WG成果発表及び技術事例発表会の実施
(11月10日)

2) WG別活動計画

(1)精度管理WG (総水銀の定量)

「計量証明における報告下限値と有効数値の統一」

(2)クロスチェックWG (水質全りん)

全りん (JIS-102) のクロスチェックの実施

(3)計量管理WG (公定法の定量範囲と標準液)
「計量機器管理の周辺」

(4)騒音振動WG (測定上の問題点と改善策)

4. 企画委員会

研修見学会 7月13日

パネルディスカッション 12月8日についての検討

5. 広報委員会

千環協ニュースNo.44～46について及び20周年記念誌について検討

平成7年度 委員会別委員一覧

総務委員会

委員長 名取昭平 セイコーアイ・テクノロジー(株)

委員 安田和久 セイコーアイ・テクノロジー(株)

石沢善博 日本軽金属(株)

北島誉子 中外テクノス(株)

吉岡弘樹 中外テクノス(株)

大川統一 (株)環境エンジニアリング君津支店

浜田隆治 (株)CTIサイエンスシステム

嘉数良規 (有)君津清掃設備工業

森田 浩 東関東道路エンジニアリング(株)

業務委員会

- 委員長 高梨正夫 浅野工事(株)環境技術研究所
- 委員 富士原廣 (株)新日化環境エンジニアリング
- 鈴木信久 中外テクノス(株)
- 川岸決男 (株)東京化学分析センター
- 斉藤 充 月島機械(株)
- 吉原武宏 月島機械(株)技術委員会
- 委員長 佐々木正夫 (株)住化分析センター千葉事業所

精度管理W/G

- リーダー 岡野隆志 川鉄テクノリサーチ(株)
- 委員 近藤省一郎 昭和電工(株)
- 永友康浩 (株)環境コントロールセンター
- 飯島公勇 キッコーマン(株)
- 森田智之 (株)環境管理センター
- 小川原正夫 ヨシザワ L A(株)
- 高田加奈子 (株)川村理化学研究所
- 金井弘和 妙中鉱業(株)

計量管理W/G

- リーダー 荒木 徹 セイコーアイ・テクノリサーチ(株)
- 委員 阿部竜也 浅野工事(株)
- 梅原茂夫 日建メンテナンス(株)
- 金子正昭 (株)環境エンジニアリング
- 佐々木昭平 神鋼杉田製線(株)
- 岩熊直紀 (株)建設技術研究所
- 高野俊之 (株)総合環境分析研究所
- 久保田隆 東洋テクノ(株)

クロスチェックW/G

- リーダー 津上昌平 習和産業(株)
- 委員 大塚章代 (株)住化分析センター
- 神野基行 (株)住化分析センター
- 渋谷英世 旭硝子(株)千葉工場
- 池田茂夫 日廣産業(株)
- 小野博利 (株)環境測定センター
- 奥山幸男 日立プラント建設サービス(株)
- 本田 優 住友セメント(株)
- 大坪光作 (株)飯塚
- 鳥海久美男 (株)千葉県環境技術センター

騒音・振動W/G

- リーダー 干場義一 環境管理センター(株)

- 委員 脇坂 勇 (株)三造試験センター東京事業所
- 藤谷光男 中外テクノス(株)
- 細井秀成 (株)上総環境調査センター
- 鈴木民男 (株)ジオソフト
- 篠原直明 (株)新東京国際空港振興協会
- 鈴木倫二 東京道路エンジニア(株)

企画委員会

- 委員長 有馬富穂 (株)新日化環境エンジニアリング
- 委員 永山瑞男 (株)永山環境科学研究所
- 鈴木幸治 (株)千葉浄化槽協会
- 飯塚嘉久 (株)ユーベック
- 代田和宏 (株)ケミコート
- 木村 仁 荏原インフィルコ(株)

広報委員会

- 委員長 菅谷光夫 (株)ダイワ
- 委員 落合真一郎 京葉ガス(株)技術センター
- 清水隆行 イカリ消毒(株)技術研究所
- 荒木 匡 (株)日本分析センター
- 富田陽美 房総ファイン(株)
- 小野次男 東京公害防止(株)

経営問題懇談会

- 委員長 野村圀夫 キッコーマン(株)

調査・開発W/G

- リーダー 橋本昭洋 ニッカウキスキー(株)
- 委員 田中 茂 (株)環境管理センター
- 安川準一 日建メンテナンス(株)
- 宮沢康弘 (株)ダイワ
- 庄司一雄 住友金属鉱山(株)中央研究所
- 小松原淳一 (株)住化分析センター
- 浜田康雄 (株)上総環境調査センター
- 鈴木定夫 (株)千葉県浄化槽協会

20周年準備委員会

- 委員長 高橋直行 (株)環境管理センター
- 委員 岡崎成美 出光興産(株)
- 坂巻 博 日本軽金属(株)
- 川島範男 (株)日本工業用水協会

「測定分析料金アンケート」結果

業務委員会

業務委員会では、昨年9月に新規制物質等の測定分析料金アンケートを実施しました。有害24項目・要監視25項目の計49項目について、57事業所に発送し、21事業所から回答が寄せられました。(回答率36.8%) そのうち、要監視項目についての回答は13事業所でした。

1. 数値の取り扱い

- 1) 報告下限値は回答中の最頻値を採用しました。
- 2) 分析単価料金は算術平均し、十の位で四捨五入して最小表示を百円単位としました。
- 3) 回答が3事業所未満の項目は、対象外として数値は記載しませんでした。

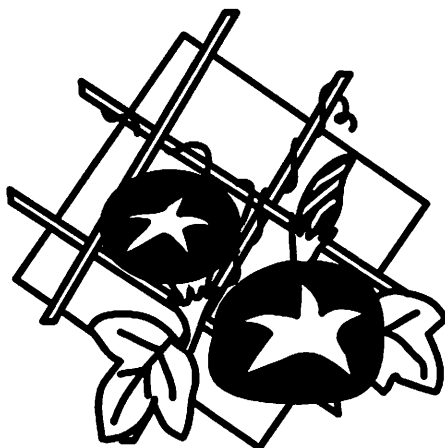
2. 最大、最小単価料金の取扱い

最大と最小単価料金の比が3倍以上の項目があり、今回のアンケート回答事業所数も少ないことから、平均値のみの記載としました。

3. セット料金と基本料金の取扱い

セット項目に統一性がないこと、さらに基本料金は測定項目数や追加項目の分析単価料金に差が見られたため、対象外とさせていただきました。

アンケートにご協力いただきました会員各位に御礼を申し上げます。



測定分析料金アンケート回答結果

1. 環境基準および排水基準項目（有害項目） *新規制項目：⑩～㉔ 平成6年9月実施

対象物質名	計量の方法	報告下限値 (mg/l)	分析単価(円) 平均値	回答数 (n)	備考
① カドミウム	JIS K0102 55.2 フレーム原子吸光法	0.005	4,400	20	
	JIS K0102 55.3 電気加熱原子吸光法	0.001	5,100	10	
	JIS K0102 55.4 ICP発光法	0.001	6,400	9	
	環告第59号付表1 ICP-MS法	-	-	-	
② 全シアン	JIS K0102 38.2 吸光光度法	0.01	4,900	14	
	JIS K0102 38.3 "	0.01	5,600	15	
③ 有機りん	環告第64号付表1 GC法	0.01	12,700	14	
④ 鉛	JIS K0102 54.2 フレーム原子吸光法	0.01	4,500	20	
	JIS K0102 54.3 電気加熱原子吸光法	0.001	5,100	10	
	JIS K0102 54.4 ICP発光法	0.001	6,400	8	
	環告第59号付表1 ICP-MS法	-	-	-	
⑤ 六価クロム	JIS K0102 65.2.1 吸光光度法	0.05	4,500	19	
	JIS K0102 65.2.2 フレーム原子吸光法	0.005	4,700	11	
	JIS K0102 65.2.3 電気加熱原子吸光法	0.005	6,100	9	
	JIS K0102 65.2.4 ICP発光法	0.01	5,900	4	
	環告第59号付表1 ICP-MS法	-	-	-	
⑥ ひ素	JIS K0102 61.1 吸光光度法	0.01	5,000	13	
	JIS K0102 61.2 水素化合物発生原子吸光法	0.005	5,700	16	
	環告第59号付表2 ICP-MS法	-	-	-	
⑦ 総水銀	環告第59号付表3 還元気化原子吸光法	0.0005	6,700	19	
⑧ アルキル水銀	環告第59号付表4 溶媒抽出 GC法	0.0005	12,400	15	
	環告第64号付表4	0.0005	11,600	5	
⑨ PCB	環告第59号付表5 GC(ECD)法	0.0005	27,400	14	
	JIS K0093 溶媒抽出 GC(ECD)法	0.0005	28,900	12	
⑩ * トリクロロエチレン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.002	20,400	10	↓ *新規制項目 ⑩ ⑪ ⑫
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	20,200	9	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
	JIS K0125 5.1 溶媒抽出 GC(ECD)法	0.002	15,900	9	
	" 5.2 HS GC(ECD)法	0.001	15,800	6	
⑪ * テトラクロロエチレン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.001	21,000	9	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	19,700	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
	JIS K0125 5.1 溶媒抽出 GC(ECD)法	0.0005	16,400	12	
	" 5.2 HS GC(ECD)法	0.0005	15,000	7	

注) 分析単価にはサンプリング費および消費税は含まれていません

対象物質名	計 量 の 方 法	報告下限値 (mg/l)	分析単価 (円) 平 均	回答数 (n)	備 考
⑫ * ジクロロメタン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.002	20,900	10	*新 規 制 項 目 ⑩ ⑪ ⑫
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	20,200	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑬ * 四塩化炭素	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.002	20,400	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.002	19,800	9	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
	JIS K0125 5.1 溶媒抽出 GC(ECD)法	0.0001	14,000	7	
	" 5.2 HS GC(ECD)法	0.0001	13,000	5	
⑭ * 1,2-ジクロロエタン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.0004	20,900	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	19,800	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑮ * 1,1-ジクロロエチレン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.002	20,900	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	19,800	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑯ * シス-1,2- ジクロロエチレン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.0004	20,900	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	19,800	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑰ * 1,1,1-トリクロロエタン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.0005	20,400	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.0005	19,800	9	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
	JIS K0125 5.1 溶媒抽出 GC(ECD)法	0.0005	15,300	10	
	" 5.2 HS GC(ECD)法	0.0005	15,000	7	
⑱ * 1,1,2-トリクロロエタン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.0005	20,400	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.0005	19,800	9	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑲ * 1,3-ジクロロプロペン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.0002	20,900	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.0002	19,800	10	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	
⑳ * チウラム	環告第59号付表7 HPLC法	0.0006	21,500	11	
㉑ * シマジン	環告第59号付表8 第1 GC-MS法	0.0003	20,500	14	
	" 付表8 第2 GC法	0.0003	19,200	6	
㉒ * チオベンカルブ	環告第59号付表8 第1 GC-MS法	0.002	20,500	14	
	" 付表8 第2 GC法	0.002	19,200	6	
㉓ * ベンゼン	環告第59号付表6 第1 P&T GC-MS法	0.001	20,400	10	
	" 付表6 第2 HS GC-MS法	0.001	20,000	9	
	" 付表6 第3 P&T GC法	-	-	-	

注) 分析単価にはサンプリング費および消費税は含まれていません

対象物質名	計量の方法	報告下限値 (mg/l)	分析単価(円) 平均	回答数 (n)	備考
② * セレン	JIS K0125 67.2 水素化合物発生原子吸光法	0.001	21,500	14	
	環告第59号付表1 ICP-MS法	-	-	-	

注) 分析単価にはサンプリング費および消費税は含まれていません

2. 要監視項目

平成6年9月実施

対象物質名	計量の方法	報告下限値 (mg/l)	分析単価(円) 平均値	回答数 (n)	備考
① クロロホルム	環水規第121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.006	20,400	10	農 薬 ↓ ↑ 農 薬
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.001	22,100	8	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.001	24,000	3	
② トランス-1,2-ジクロロエチレン	環水規第121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.004	20,900	10	
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.001	22,100	7	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.0005	24,000	3	
③ 1,2-ジクロロプロパン	環水規第121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.006	20,900	10	
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.006	22,100	7	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.006	24,000	3	
④ p-ジクロロベンゼン	環水規第121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.03	20,900	10	
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.001	22,100	7	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.03	24,000	3	
⑤ イソキサチオン	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.0008	22,100	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0008	20,500	4	
⑥ ダイアジノン	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.0005	21,600	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0005	20,500	4	
⑦ フェントロチオン (MEP)	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.0003	21,600	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0003	20,500	4	
⑧ イソプロチオラン	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.004	21,900	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.004	20,500	4	
⑨ オキシ銅	環水規第121号付表3 HPLC法	0.004	20,700	9	
⑩ クロロタロニル (TPN)	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.004	21,900	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0005	20,500	4	
⑪ プロピザミド	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.0008	21,900	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0008	20,500	4	
⑫ EPN	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.0006	17,400	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0006	16,800	4	
⑬ ジクロルボス (DDVP)	環水規第121号付表2 第1 GC-MS法	0.001	22,100	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.001	20,500	4	

注) 環水規第121号(平成5年4月28日 環境庁水質保全局水質規制課)
水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について

対象物質名	計量の方法	報告下限値 (mg/l)	分析単価(円) 平均値	回答数 (n)	備考
⑭ フェノバルブ (BPMC)	環水規第 121号付表2 第1 GC-MS法	0.002	22,000	8	農 業 ↓
	" 付表2 第2 GC法	-	-	-	
⑮ イプロベンホス (IBP)	環水規第 121号付表2 第1 GC-MS法	0.0008	22,100	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0008	20,500	4	
⑯ クロロニトロフェン (CNP)	環水規第 121号付表2 第1 GC-MS法	0.0005	21,900	10	
	" 付表2 第2 GC法	0.0005	20,500	4	
⑰ トルエン	環水規第 121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.06	20,900	10	
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.001	20,300	6	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.0005	24,000	3	
⑱ キシレン	環水規第 121号付表1 第1 P&T GC-MS法	0.04	20,900	10	
	" 付表1 第2 HS GC-MS法	0.04	21,700	7	
	" 付表1 第3 P&T GC法	0.04	24,000	3	
⑲ フタル酸ジエチルヘキシル	環水規第 121号付表4 第1 GC-MS法	0.006	24,400	9	
	" 付表4 第2 GC法	0.006	24,800	5	
㉑ ほう素	JIS K0102 47.1 吸光度法	0.01	6,100	10	
	" 47.3 ICP発光分析法	0.02	7,500	7	
	環水規第 121号付表5 ICP-MS法	-	-	-	
㉒ フッ素	JIS K0102 34.1 吸光度法	0.1	5,200	14	
	環水規第 121号付表6 イソクロマトグラフ法	0.1	7,500	9	
㉓ ニッケル	JIS K0102 59.3 ICP発光分析法	0.001	7,200	8	
	環水規第 121号付表5 ICP-MS法	-	-	-	
	" 付表7 電気加熱原子吸光法	0.001	4,500	9	
㉔ モリブデン	JIS K0102 68.2 ICP発光分析法	0.007	7,500	8	
	環水規第 121号付表5 ICP-MS法	-	-	-	
	" 付表7 電気加熱原子吸光法	0.007	5,200	9	
㉕ アンチモン	JIS K0102 62.2 水素化物発生原子吸光法	0.0002	7,000	10	
	環水規第 121号付表8 水素化物発生ICP法	0.0002	11,500	3	
㉖ 硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	JIS K0102 43 吸光度法	0.02	5,800	15	

注) 分析単価にはサンプリング費および消費税は含まれていません

「ニーズ調査アンケート」結果

経営問題懇談会
調査開発W / G

千葉県環境計量協会では、近年の環境計量のニーズのたかまりを受けて、環境測定項目に関する精度の維持、分析・測定技術の向上はもちろんのこと、新規分析技術へ積極的対応などについて、技術委員会のワーキンググループ活動・技術講習会・技術事例発表会などの活動を通じて取り組んでまいりました。

さらに、お客様のニーズやクレームへの対応に、一層感受性をもつ必要から、平成6年度（第18回）総会で経営問題懇談会の下部組織として、調査開発ワーキンググループを新たに発足させることを決定いたしました。

調査開発ワーキンググループでは、平成6年度はお客様への最新技術情報の提供と、お客様のニーズ調査の2テーマを選び活動をおこないました。

最新技術情報の提供につきましては既に、新聞情報などの中から、関連する情報を取捨選択して千環協ニュース（第42号）に掲載いたしました。また、お客様ニーズ調査グループでは、アンケート調査を実施し、ここに報告いたします。

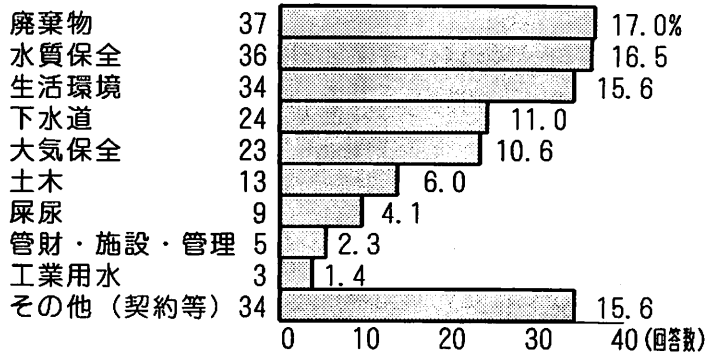


アンケート調査票集計結果

平成7年5月
千葉県環境計量協会

(多答方式)

行政機関 回答部門	水質保全 土木	大気保全 管財・施設・管理	廃棄物 その他(契約等)	生活環境	下水道	屎尿	工業用水
--------------	------------	------------------	-----------------	------	-----	----	------

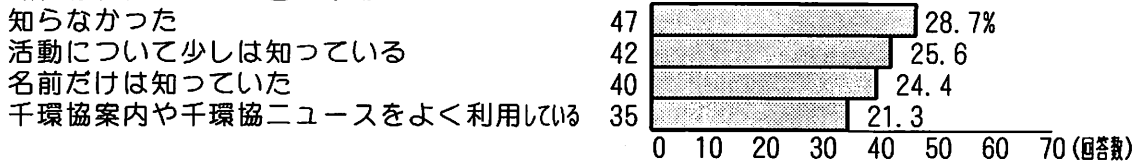


回答結果

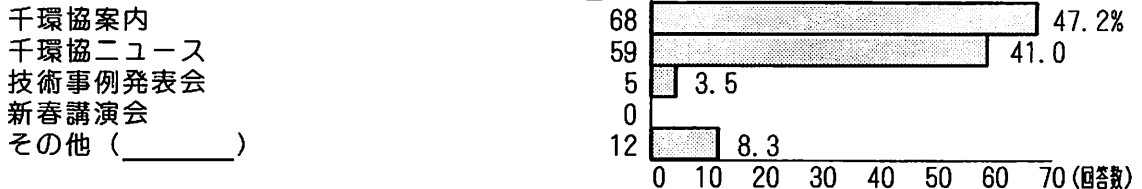
訪問数	166
記入回答数	157
白紙回答数	2
未回答数	9
回答率 (%)	95

1. 千葉県環境計量協会(略称:千環協 セカワキョウ)に関して

イ. 千環協存在についてお答え下さい



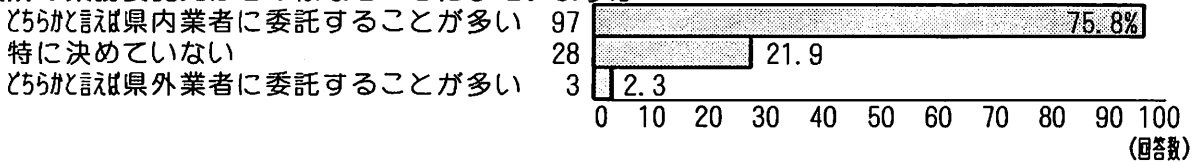
ロ. 各種行事・広報等について、ご存じの内容をお答え下さい



2. 環境計量証明業務の委託についてお聞かせ下さい

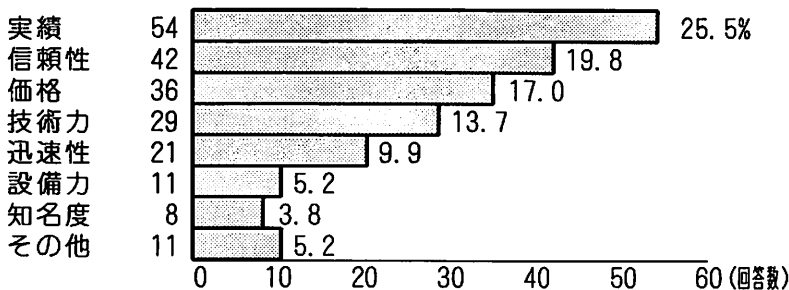
答えられる範囲でお答え下さい

イ. 貴所の業務委託先はどの様なところにしていますか

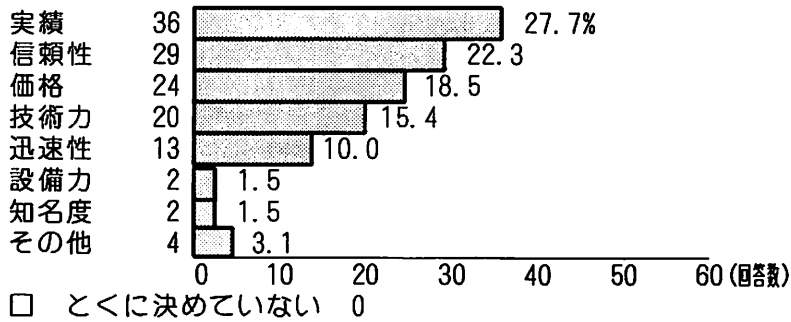


ロ. 業務委託先きについてお聞かせ下さい

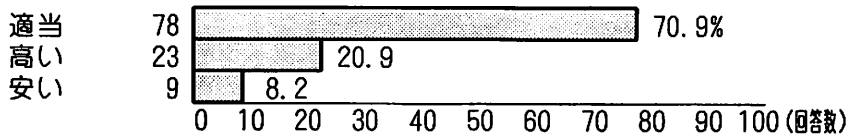
主に指名審査によって決めている その選定基準はなにですか



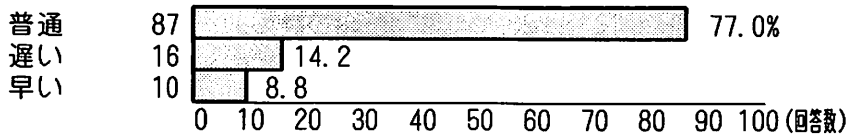
主に随時契約によって決めている その選定基準はなにですか



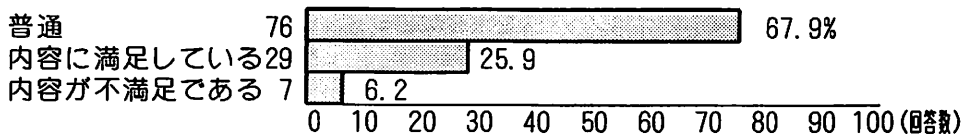
八. 分析・測定料金について実感をお答え下さい



二. 報告の納期について実感をお答え下さい



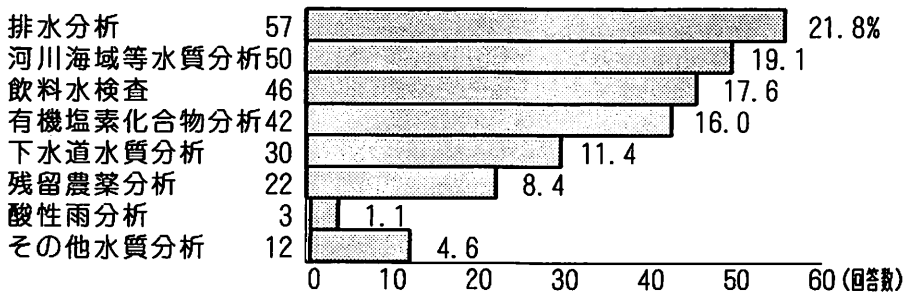
ホ. 報告書について () 内にその理由をお書き下さい



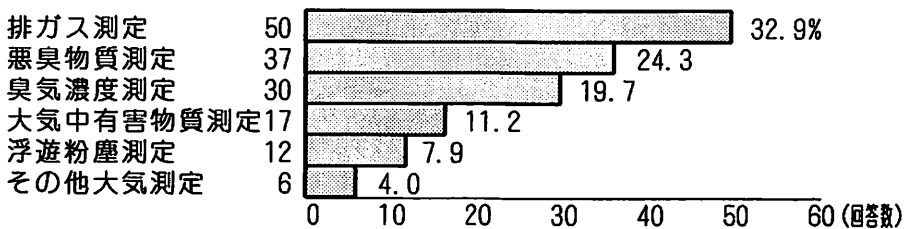
3. 委託内容に関して

イ. 今までに計量証明事業所等に発注した業務内容についてお答え下さい

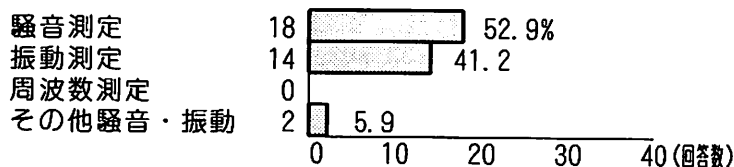
(1) 排水分析・等



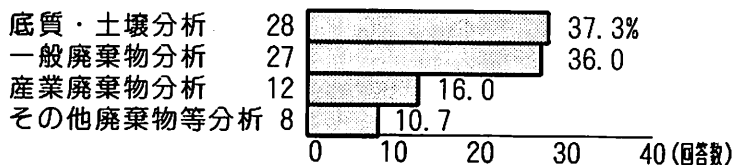
(2) 排ガス測定・等



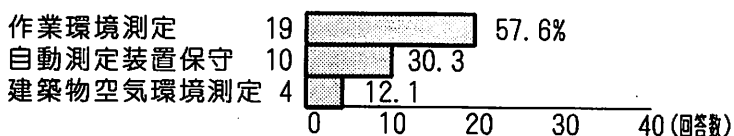
(3) 騒音測定・等



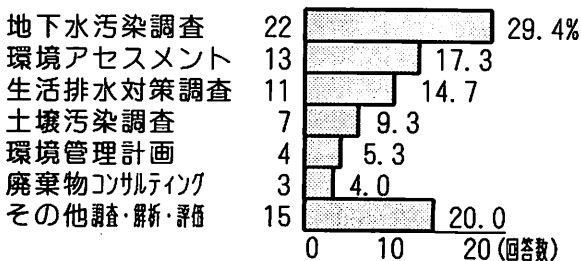
(4) 一般廃棄物分析・等



(5) 作業環境測定・等

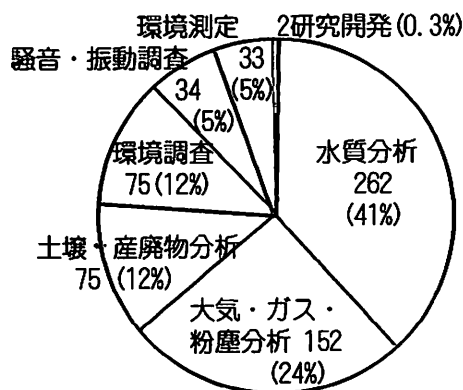


(6) 環境アセスメント・等



(7) 研究・開発委託

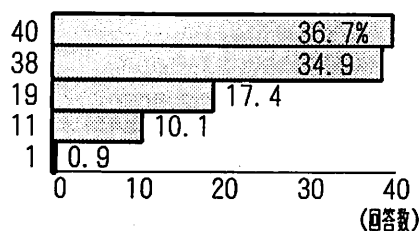
2



3. イ. (1) ~ (7) 受託内容別集約

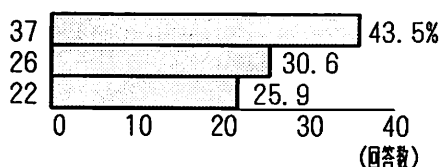
ロ. 貴所の環境対策についてお答え下さい

環境に関わる問題が生じた時に、内部でその都度対処している
 環境対策部門が常設されており、対処できる体制ができている
 問題が生じた時には、専門行政機関に相談して対処している
 特に決めていないが、今後の課題にしている
 その他 ()



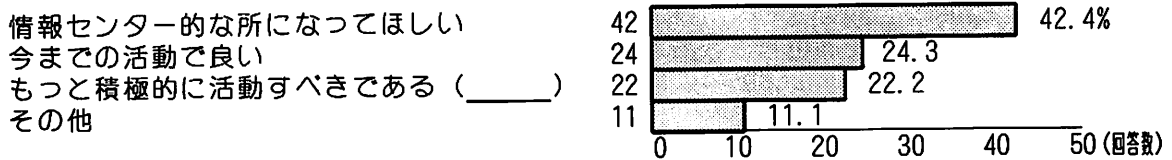
ハ. 貴所では、環境に関わる長期の方針を作成されていますか

よろしければ差支えない程度で内容をお聞かせ下さい
 中・長期方針は作成されている ()
 今のところ作成する予定はない ()
 現在は無いが、今後作成することになっている ()



4. 千環協の活動内容に関して

イ. 千環協に対するご要望についてお聞かせ下さい



ロ. 千環協に関してご意見あるいはお気づきの点についてお聞かせ下さい

①千環協は情報収集・提供する機関になって欲しい、と言う内容のもの

- 会社リスト欄に社員数や得意な分野等を入れて欲しい、現状の案内では利用しにくい
- 価格或いは分析手法等について情報を入れて欲しい
- 千環協ニュースが届いていない
- 千環協の料金資料があるとよい
- 担当課へもっとPRして欲しい
- 千環協の活動状況が分からない、もっとPRすべきである
- 59社の実績をデータベース化することにより検索するシステムがあると助かる
- 千環協が情報交換の場として活動して欲しい
- 分析技術の研究・開発の紹介をしてほしい
- 法律で定められていない分析技術の情報提供をしてほしい
- 市町村レベルで行っている研究の紹介や、おもしろい調査があればニュースなどに紹介してはどうか
- 法的なものの情報を伝えて欲しい
- 情報提供を活発に、ただし内容は分かりやすく
- 千環協ガイド、実態資料を配布してほしい

②千環協は技術相談・指導的機関として活動して欲しい、と言う内容のもの

- 分析測定価格の積算基準の参考となる資料を復活してほしい
- 価格が業者によって違う、見積りのフォーマットも業者によって違っている
- 料金ダウンを図って欲しい
- 技術的なアドバイスについて連絡しても良いか
- 千環協のクロスチェックについて水よりも大気のほうもやって欲しい
- 案内書は郵送ではなく持参して欲しい
- 業者間でクロスチェックをしてはどうか
- クロスチェックの結果の公表はできないのか
- 任意団体から脱却してもらえれば・・・、会則はあるのか
- 証明書の統一を図って欲しい
- 事業所間での技術レベル差、信頼性に差があると判断される。業界はどのようになっているのか。どのような対策をとっているのか。

③受託事業所は報告書・分析結果の質の向上を図って欲しい、と言う内容のもの

- 分析結果をもらってからのその結果がどうなのかが判断できない(フォローが欲しい)
- 業者によっては納期の早いもの、遅いものあり
- 時々、出てくるデータがおかしいときがある、そのチェック体制はどうなっているのか
- 個々事業所の技術レベルが分からない。クロスチェックを必要とする様な事業所とは契約したくない。

-以上-

第21回千環協親睦ゴルフ大会

数々の名勝負を残した歴史と伝統ある第21回千環協ゴルフ大会が5月25日、太平洋クラブ市原コースにて開催されました。参加者は後藤顧問、中村会長をはじめ16名の腕自慢があつまり熱い戦いが開始されました。栄えある優勝者は安定したショットそして巧みなリカバリ、手堅いパットとスコアーをまとめた後藤顧問に勝利の女神が微笑みました。

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	後藤 一郎	49	50	99	22	77
準優勝	石沢 善博	51	46	97	18	79
3位	高野不二男	45	45	90	8	82
4位	神野 基行	48	48	96	14	82
5位	遠藤 正和	50	50	100	18	82



優勝の後藤顧問



参加者一同

還暦の年に 望外の優勝

千環協顧問 後藤 一郎

第21回の協会のゴルフコンペで望外の優勝をしました。NET 77、5オーバーの優勝ですから、あまり自慢にはなりません。当日参加の皆さんが、仕事疲れか調子が悪すぎたことと、NET 72のパープレーであがった飯島さんが初参加で優勝の権利なしという好運のお陰です。

しかし、なんといってもメンバーにめぐまれました。中村会長、高橋、名取の両理事のメンバーで和気藹々の楽しいゴルフでした。途中何度もくずれかかった私を、優勝をあきらめた彼等が“オダテ”たり、励ましたりしてくれてすっかり乗せてくれました。年寄りを働かせるのが実に上手だ。ありがとう。

千環協のゴルフは、私にとって最も楽しいゴルフ会です。心身共に若がえります。次回も(一応)優勝を目指して思いっきりプレーをしたいと思います。



後藤顧問のティーショット

理事会報告

第102回理事会

日時 平成7年3月24日
17:00～19:00

場所 出光 保田寮

出席者 後藤顧問、中村会長、北原副会長、高橋副会長、名取、岡崎、佐々木、高梨、菅谷各理事、有馬氏

議題

1. 報告事項

(1)日環協関係（北原副会長）

①平成7年度の環境セミナーは、近畿で担当するはずであったが阪神大震災の関係で関東支部が引き受けることになった。また、今年度の関東地区環境セミナーは埼玉県が担当であるが、日環協全国大会埼玉大会といった形で行う。

②平成6年度事業報告及び収支決算報告

・事業報告

地区連絡会

首都圏環境連秋季研修会

北関東環境測定機関連絡会

環境計量証明事業信越連絡協議会

全関東地区連絡会

研修事業

第6回関東支部環境セミナー

東京大会10/23～24実施

・収支報告

決算見込み額5,175,145円

信越環境測定機関協議会が発足、地区連絡費として100,000円の支出を決定。

③平成7年度本部役員（理事）

谷本会長から谷副会長が会長に、後任副会長は藤原氏、副会長に後藤氏、専務理事に世良氏の体制で臨む。

5月24日の総会より千環協から名取理事が北原氏の後任として出席する。

(2)首都圏環協連

①分科会報告

実態～工場排水試験法のアンケート集計を8社に依頼しまとめた。平成7年度も継続し報告書にまとめる。

実態～今後の活動について

- ・下水道事業団の事業活動への対策を行う。
- ・耐震対策安全マニュアルの作成の検討
- ・業界の地位向上施策の検討

②平成7年度の幹事は千環協となる。

2. 委員会報告

(1)総務委員会

合同委員会の開催について

5月中旬を6月中旬とする。

(2)広報委員会

No43ニュース3月23日発送。

(3)業務委員会

①新規制物質料金アンケートのまとめ

- ・回収率～38.8% (21/57)
- ・報告下限値～最頻値を採用
- ・単価料金～算術平均、百円単位
- ・回答事業所が3事業所未満は無記載
- ・セット項目に統一性が無いため無記載

②平成7年度活動計画

- ・測定分析料金アンケートの実施
大気、騒音、振動
- ・日環協、首都圏環協連の事業への参画

(4)経営問題懇談会

第8回経営問題懇談会

- ・14社14名の参加のもと社員の教育、育成について「部下の動機づけ」、「部下とのコミュニケーション」のビデオにより人間関係、信頼感醸成、意欲向上の重要性について勉強した。

3. 平成6年度決算、平成7年度予算について
 - ・平成6年度決算状況報告について会長より説明があり承認された。
 - ・平成7年度予算について各理事より提出された案をもとに審議し一部修正をし承認された
4. 通常総会運営について
 - ・名取総務委員長より運営案が提出されそれにもとづき実施計画が決定された。
5. その他
 - ・中村会長より通常総会において阪神大震災の義援金募金を募りたいとの提案があり承認された。
 - ・平成8年度は千環協20周年の節目にあたり記念行事計画を滞りなく遂行出来るよう準備委員会を設けたいとの提案があり承認された。

第103回理事会

日時 平成7年5月19日

15:00～17:00

場所 船場

出席者 中村会長、北原副会長、高橋副会長、名取、岡崎、佐々木、高梨、有馬、菅谷各理事、野村氏

議 題

1. 報告事項

(1)日環協関係（北原副会長）

関東支部役員会

①平成6年度収支決算

予算5,394,967円決算5,401,001円

②平成7年度事業計画

- ・首都圏環境連秋季研修会（千葉県）
- ・北関東環境測定連絡協議会（茨城県）
- ・環境計量証明事業信越連絡協議会（長野県）

- ・日環協環境セミナー（関東支部大会）
- 第22回通常総会（5/24）
- ・本総会より名取理事に交替する。
- ・厚生年金基金設立準備委員会基金設立の認可
- ・新会長に谷學氏が選任された。
- ・活動の概要
 - 米国の環境分析機関の訪問調査
 - 海外の情報収集
 - 途上国への技術面の対応
 - 研修センターの建設
 - 環境管理、監査への参画
- ・特別講演
 - 「日本経済の現状と展望」

(2)首都圏環協連

①分科会報告

実態～震災対策関連の情報収集を行った。

事前対策マニュアルを4種類に分けその業務分担を決めた。

- ・準備（埼玉）
- ・測定機器対策（東京）
- ・薬品、廃棄物対策（神奈川）
- ・安全防火対策（千葉）

濃度～工場排水試験法Q&Aについて

平成7年度一杯を目安としQ&A集を作成し会員へ配布する。

②平成6年度収支決算

収入2,209,516円決算1,457,338円

③平成7年度予算

承認事項では無いので従来どおりの処理を行うことで理解された。

（平成7年度は千葉が幹事県である。）

④その他

新年度より各県単からの首都圏委員の名簿を作成する。

(3)計量実行委員会

4月18日開催千環協から中村会長出席、協会から30,000円の協賛金。

計量なるほど展（11月に開催）

2. 委員会報告

(1)総務委員会

- ・通常総会報告（別項参照）
- ・阪神大震災の義援募金を実施報告
- ・各種行事のアンケート実施報告
アンケート結果については、合同委員会で結果報告した。（回収率 35 %）
- ・合同委員会の役割分担の決定
20周年準備委員会を設ける。

(2)業務委員会

- ・新規制物質料金アンケートの配布
通常総会において配布当日欠席者へは、郵送にて配布。
- ・平成7年度活動計画
会員ガイドの作成、測定分析料金アンケート（産廃と土壌等について）、首都圏環協連への参画

(3)企画委員会

- ・総務委員会のアンケート結果を参考に研修見学会を合同委員会で決定

(4)技術委員会

- ・技術事例発表会を11月に実施する。

(5)広報委員会

- ・ニュース発行について
No44～No46を発行する。20周年記念誌発行についての検討を行う。

(6)経営問題懇談会

- 顧客ニーズ調査アンケートの結果集計について（別項参照）
- ・集計結果報告（No44ニュースへ掲載）
- ・千環協についての意見、質問等については6月末日を目処に対応する。

3. 北原副会長後任人事の件

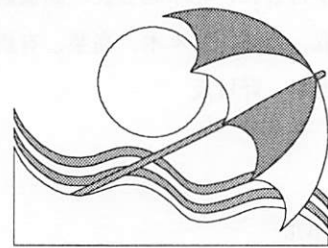
- ・北原氏、勤務先定年退職に伴い後任としてキッコーマン(株)野村圀夫氏が推薦され承認された。

4. 文書承認の件

- ・入会申込書、退会届の文書を承認した。
様式は事務局にて保管。

5. 調査開発W/Gアンケート対応の件

- ・アンケート中の千環協についてのご意見、お気付きの点、質問等の項目について貴重な意見があるので会長、副会長にて対応する。

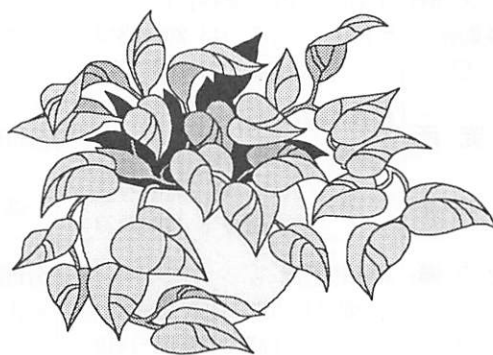


募金ご協力ありがとうございました

本年4月20日の通常総会及び引き続いての懇親会時に、阪神大震災の救援募金を募りました。

おかげさまで多数の方々のご協力を頂き、合計26,537円の募金が集まりました。厚く御礼申し上げます。早速、読売新聞社内「兵庫県南部地震救援募金」事務局へ送金致しましたところ、4月27日付の読売新聞京葉版に下記の通り掲載がありましたので、ご報告申し上げます。

- ◇ 100,000円 成田市＝市立中台中学平成6年度卒業生一同
- ◇ 70,000円 千葉市緑区＝ホリーグループ（魚見悦一代表）
- ◇ 61,211円 岬町＝岬病院
- ◇ 50,000円 市川市＝角田忠信
- ◇ **26,537円 千葉市中央区＝県環境計量協会**
- ◇ 14,257円 八千代市＝下田食堂一同
- ◇ 12,000円 旭市＝昭和35年度豊畑小卒業生一同
- ◇ 10,000円 流山市＝嶋稔・保美
- ◇ 9,000円 野田市＝若葉台自治会（敬称略）



会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考	
			濃 度			証	種		類
			燻	煩	塊				
浅野工事(株) 環境技術研究所 代表取締役社長 雑賀 俊一	千葉市中央区都町 1-49-2 〒260 TEL 043-234-8628 FAX 043-234-8629	高梨 正夫		○				理事 (兼務)	
旭硝子(株) 千葉工場 工場長 杉山 泰彦	市原市五井海岸 10 〒290 TEL 0436-23-3149 FAX 0436-23-3126	環境管理部 安全環境保全室 渋谷 英世	○	○	○				
(株) 飯塚 環境技術研究所 代表取締役 飯塚 貴之	松戸市紙敷 599 〒271 TEL 0473-91-1156 FAX 0473-91-0110	環境技術研究所 所長 大坪 光作	○	○	○				
イカリ消毒(株) 技術研究所 代表取締役社長 黒沢 聡樹	千葉市中央区千葉寺町 579 〒260 TEL 043-264-0126 FAX 043-261-0791	所長代理 清水 隆行	○	○	○				
出光興産(株) 千葉製油所 取締役所長 杉山 實	市原市姉崎海岸 2-1 〒299-01 TEL 0436-61-1215 FAX 0436-61-1511	品質管理課 岡崎 成美	○	○	○				
荏原インフィルコ(株) 袖ヶ浦工場 工場長 古田 稔	袖ヶ浦市中袖 35 〒299-02 TEL 0438-63-4622 FAX 0438-63-4922	木村 仁		○	○				
(株) オートック 研究センター 代表取締役専務・所長 古田 力久	佐倉市大作 2-4-2 〒285 TEL 043-498-3912 FAX 043-498-3919	畑堀 尚生	○	○	○				
(株) 上総環境調査センター 代表取締役 浜田 康雄	木更津市潮見 4-16-2 〒292 TEL 0438-36-5001 FAX 0438-36-5073	業務課 白石 清隆	○	○	○	○			
川鉄テクノリサーチ(株) 分析・評価センター 千葉事業所 取締役所長 小石 想一	千葉市中央区川崎町 1 〒260 TEL 043-262-2313 FAX 043-266-7220	主任 岡野 隆志	○	○	○	○			
(財) 川村理化学研究所 理事長 高橋 武光	佐倉市坂戸 631 〒285 TEL 043-498-2111 燻 2210 FAX 043-498-2229	分析研究室 高田加奈子		○	○				
環境エンジニアリング(株) 君津支店 専務取締役支店長 西原 亮一	君津市君津 1 〒299-11 TEL 0439-52-3810 FAX 0439-55-1419	分析課長 吉田 常夫	○	○	○	○	○		
(株) 環境エンジニアリング 市川研究所 所長 岡本 恭一	市川市田尻 3-4-1 〒272 TEL 0473-70-2561 FAX 0473-70-3050	金子 正昭	○	○	○				

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	種 別	
			燻	積	塊			
(株) 環 境 管 理 セ ン タ ー 東関東支社長 高橋 直行	千葉市中央区稲荷町 71 〒 260 TEL 043-261-1100 FAX 043-265-2412	支社長 高橋 直行	○	○	○	○	○	副会長
(株)環境コントロールセンター 代表取締役社長 松尾 大邑	千葉市中央区宮崎町 180-4 〒 260 TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402	環境課 守 謙 志	○	○	○			
(株) 環 境 測 定 セ ン タ ー 代表取締役社長 小野 博利	千葉市花見川区検見川町3-1953 御園生ビル2 F 〒 262 TEL 043-274-1031 FAX 043-274-1032	代表取締役社長 小野 博利	○	○				
キ ッ コ ー マ ン (株) 分析センター 分析センター長 野村 罔夫	野田市野田 350 〒 278 TEL 0471-23-5080 FAX 0471-23-5188	分析センター長 野村 罔夫	○	○	○	○	○	副会長
(有) 君 津 清 掃 設 備 工 業 取締役社長 松尾 国昭	袖ヶ浦市横田 3954 〒 299-02 TEL 0438-75-3194 FAX 0438-75-7029	嘉数 良規		○				
共 立 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株) 環境第2部 代表取締役 田中 敏	千葉市稲毛区弥生町 4-37 〒 263 TEL 043-285-1947 FAX 043-285-1949	部長代理 島 孝 治		○	○	○	○	
京 葉 ガ ス (株) 生産部技術センター 常務取締役生産部長 半田 憲治	市川市市川南 2-8-8 〒 272 TEL 0473-25-3360 FAX 0473-26-1759	落合真一郎		○	○			
(株) ケ ミ コ ー ト 所 長 代田 和宏	浦安市北栄 4-15-10 〒 279 TEL 0473-52-1131 FAX 0473-52-1139	所 長 代田 和宏		○				
(株) 建 設 技 術 研 究 所 応用理学部 部 長 山下 佳彦	柏市明原 1-2-6 〒 277 TEL 0471-44-3106 FAX 0471-47-4745	岩熊 真起		○	○			
公 害 計 器 サ ー ビ ス (株) 代表取締役社長 佐藤 政雄	市原市出津 7-8 〒 290 TEL 0436-21-4871 FAX 0436-22-1617	専務取締役 佐藤 政敏	○	○	○			
(株) 三 造 試 験 セ ン タ ー 東部事業所 取締役所長 久米 範佳	市原市八幡海岸通 1 〒 290 TEL 0436-43-8931 FAX 0436-41-1256	試験検査部長 脇 坂 勇	○	○	○			
(株) シ ー ティー アイサイエンスシステム 開発事業部 代表取締役社長 斉藤 秀晴	柏市明原 1-2-6 〒 277 TEL 0471-45-6044 FAX 0471-47-4891	浜田 隆治		○	○			

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	種 別	
			規	櫃	域			
(株) ジ オ ソ フ ト 代表取締役社長 鈴木 民夫	千葉県美浜区磯辺 1-16-1 〒261 TEL 043-248-5378 FAX 043-248-0478	鈴木 民夫				○		
習 和 産 業 (株) 代表取締役 柴田勝次郎	習志野市東習志野 7-1-1 〒275 TEL 0474-77-5300 FAX 0474-93-0982	環境管理センター 課長 津上 昌平	○	○	○	○		
昭 和 電 工 (株) 千葉事業所 取締役所長 佐久間 洋	市原市八幡海岸通 3 〒290 TEL 0436-41-5111 FAX 0436-41-3972	品質保証課 課長 井川 洋志	○	○	○			
神 鋼 杉 田 製 線 (株) 代表取締役社長 杉田 光治	市川市二俣新町 17 〒272 TEL 0473-27-4517 FAX 0473-28-6260	分析室長 佐々木昭平		○	○			
(財)新東京国際空港振興協会 理事長 松井 和治	成田市東三里塚字中之台 118 〒286-01 TEL 0476-32-7625 FAX 0476-32-6726	調査事業課 篠原 直明				○		
(株)新日化環境エンジニアリング 君津事業所 所長 足立 剛	君津市君津 1 〒299-11 TEL 0439-55-2709 FAX 0439-54-1657	取締役部長 有馬 富穂	○	○	○		理事 (企画)	
(株)住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 平野 安之	袖ヶ浦市北袖 9-1 〒299-02 TEL 0438-62-4193 FAX 0438-62-4162	佐々木正夫	○	○	○		理事 (技術)	
住 友 金 属 鉱 山 (株) 中央研究所 所長 千野 健一	市川市中国分 3-18-5 〒272 TEL 0473-72-7221 FAX 0473-72-9133	分析センター長 永井 巖		○	○			
住 友 セ メ ン ト (株) 環境技術センター 所長 本田 優	船橋市豊富町 585 〒274 TEL 0474-57-0751 FAX 0474-57-7871	本田 優		○	○	○		
セイコーアイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長 名取 昭平	松戸市高塚新田 563 〒271 TEL 0473-91-2298 FAX 0473-92-3238	代表取締役社長 名取 昭平	○	○	○		理事 (総務)	
(株)総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	松戸市樋野口 616 〒271 TEL 0473-63-4985 FAX 同上	高野 俊之	○	○	○			
(株) ダ イ ワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫	東金市家徳 238-3 〒283 TEL 0475-58-5221 FAX 0475-58-5415	支店長 菅谷 光夫	○	○	○	※	※ 理事 (広報)	

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考	
			濃 度			証	機		機
			煩	煩	煩				
妙 中 鋳 業 (株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治	茂原市大芝 452 〒 297 TEL 0475-24-0140 FAX 0475-23-6405	室 長 金井 弘和	○	○	○				
(財)千葉県環境技術センター 理 事 長 井上 富夫	市原市五井南海岸 3 丸善石油化学(株)千葉工場内 〒 290 TEL 0436-23-2618 FAX 0436-23-1031	業務部長 石川 茂弘		○	○				
(社)千葉県浄化槽協会 理 事 長 株木 寒吉	千葉市中央区中央港 1-11-1 〒 260 TEL 043-246-2355 FAX 043-248-6524	水質検査室長 鈴木 幸治		○					
中 外 テ ク ノ ス (株) 関東営業所 所 長 中村 豊	千葉市稲毛区黒砂 1-14-9 〒 263 TEL 043-243-3511 FAX 043-243-6740	営業課 鈴木 信之	○	○	○	○	○	会 長	
月 島 機 械 (株) 代表取締役社長 黒板 行二	市川市塩浜 1-12 〒 272-01 TEL 0473-59-1653 FAX 0473-59-1663	須山 英敏	○	○	○				
(株)東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 長正	市原市玉前西 2-1-52 〒 290 TEL 0436-21-1441 FAX 0436-21-5999	川岸 決男	○	○	○			監 事	
東京公害防止(株) 代表取締役社長 小野 次男	東京都千代田区神田和泉町 広瀬ビル3F 1-10-1 〒 101 TEL 03-3851-1923 FAX 03-3866-7483	代表取締役社長 小野 次男	○	○	○				
東京道路エンジニア(株) 代表取締役社長 戸谷 是公	東京都文京区湯島 3-1-3MHE 〒 113 TEL 03-3834-0851 FAX 03-3834-7112	課長 鈴木 倫二	○	○		※	※		
東 洋 テ ク ノ (株) 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆	山武郡松尾町田越 328-1 〒 289-15 TEL 0479-86-6636 FAX 0479-86-6624	久保田 隆	○	○	○				
(株)永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男	鎌ヶ谷市南初富 1-8-36 〒 273-01 TEL 0474-45-7277 FAX 0474-45-7280	環境計量士 永山 瑞男	○	○	○	○	○		
ニ ッ カ ウ キ ス キ ー (株) 生産技術研究所 分析センター 取締役所長 宇野 正紘	柏市増尾字松山 967 〒 277 TEL 0471-72-5472 FAX 0471-75-0290	センター室長 橋本 昭洋		○	○				
日 本 軽 金 属 (株) 船橋分析センター センター長 伊東 俊夫	船橋市習志野 4-12-2 〒 274 TEL 0474-77-7646 FAX 0474-78-2437	坂 卷 博	○	○	○				

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	補 遺	
			灰	類	塊			
日 建 メ ン テ ナ ン ス (株) 代表取締役 大迫 秀隆	船橋市山手 1-1-1 〒 273 TEL 0474-35-5061 FAX 0474-35-5062	安川 準一		○				監 事
日 廣 産 業 (株) 環境技術センター 代表取締役社長 田中 馨典	千葉市中央区川崎町 1 〒 260 TEL 043-266-8041 FAX 043-262-4340	池田 茂夫		○				
(社) 日 本 工 業 用 水 協 会 水質分析センター 所 長 岩崎 岩次	市川市南八幡 2-23-1 〒 272 TEL 0473-78-4560 FAX 0473-78-4573	主任技師 川島 範男		○	○			
日 本 廃 水 技 研 (株) 千葉支店 代表取締役社長 荒西寿美男	市川市相之川 2-1-21 〒 272-01 TEL 0473-58-6016 FAX 0473-57-6936	斎藤 充		○	○			
(財) 日 本 分 析 セ ン タ ー 会 長 斎藤 信房	千葉市稲毛区山王町 295-3 〒 263 TEL 043-423-5325 FAX 043-423-5326	分析業務課 室井 隆彦		○	○	○		
東 関 東 道 路 エ ン ジ ニ ア (株) 代表取締役社長 宮本 潔	東京都台東区台東 2-27-7 日土地御徒町ビル 6 F 〒 110 TEL 03-3805-7911 FAX 03-3805-7902	森田 浩	○				※ ※	
日 立 プ ラ ン ト 建 設 サ ー ビ ス (株) 環境技術センター 代表取締役 武井 弘勝	松戸市上本郷字船付 537 〒 271 TEL 0473-65-3840 FAX 0473-67-6921	環境センタ 岩井 雅		○	○			
房 総 フ ァ イ ン (株) 代表取締役社長 榑原 崇夫	茂原市東郷 1900-1 三井東圧化学(株)内 〒 297 TEL 0475-22-2727 FAX 0475-22-4565	環境事業部 富田 陽美		○	○	○		
(有) ユ ー ベ ッ ク 代表取締役社長 飯塚 嘉久	木更津市久津間 613 〒 292 TEL 0438-41-7878 FAX 0438-41-7878	飯塚 嘉久		○	○	○		
ヨ シ ザ ワ L A (株) 環境分析センター 代表取締役社長 下杉 善胡	柏市新十余二 17-1 〒 277 TEL 0471-31-4122 FAX 0471-31-0506	小川原正夫		○	○	○		

※：県外事業所登録

—— 編 集 後 記 ——

「日本人が出場できた事をすばらしく、また誇りに思う。」

米大リーグオールスター戦、ウィンブルドンテニスと日本中を興奮の渦に巻き込んだゲーム。
感動に耽った人はすくなくは無いと思います。

平成7年度の千環協行事もスタートし委員会別に活発な活動が伝わってまいります。

来年は千環協設立20周年の記念すべき年となります。

今後も会員皆様のご協力をお願い致します。

広 報 委 員	荒 木 匡	(財)日本分析センター
	富 田 陽 美	房総ファイン(株)
	清 水 隆 行	イカリ消毒(株)
	西 本 和 男	京葉ガス(株)
	落 合 真一郎	京葉ガス(株)
	菅 谷 光 夫	(株)ダイワ

千環協ニュース第44号

平成7年7月20日

発行 千葉県環境計量協会

〒260 千葉県中央区稲荷町71番地

(株)環境管理センター内

TEL (043) 261-1100

印刷 東金印刷株式会社

〒283 東金市東金405

TEL (0475) 52-2859